



沖縄県民の歯と口の健康を維持促進し、一生涯口から食事ができるよう多くの医療機関との医療連携を構築して行くことを目指します。



沖縄県歯科医師会 会長  
比嘉 良喬 先生

**Q1.** 今年4月に歯科医師会長に就任されましたが、早7ヶ月となるかと存じますが、ご感想と今後の抱負をお聞かせください。

4月からの就任では有りますが、2月の臨時総会で沖縄県歯科医師会会長として信任を受け、専務理事の職責を果たしながら次期役員を選考を行い、勢いに任せて、現在に至っている次第です。

会長職につき行政やその他の団体との対外的な対応等、多くの時間を費やすと同時に、多くの事を学ばせて頂いております。

沖縄県歯科医師会の歴史において、親子二代の会長は初めてであり、比較される事も多々ありますが、時代や性格の違いもありますので私なりの個性を見て頂きたいと思っております。

今後の抱負としては、沖縄県民の歯と口の健康を維持促進し、一生涯口から食事ができるよう多くの医療機関との医療連携を構築して行くことを目指してまいります。

**Q2.** 長年の医療費抑制により、医療界は厳しい状況下であり、歯科医療も困難な状況にあると思っておりますが、この度新政権に代わり、どのように変わっていくと思われませんか。また、どのように期待しておりますか？  
新政権が変わって、マニフェスト通りに医療

収入への事業税などの課税等単に負担増を押し進めていくのか、平成23年4月に始まるレセプトオンラインにおいても、どの様な着地点を見いだせるか、又今後の保険改正において、歯科における医療安全に対する処置や技術料に関しての適正な評価をしていただくことを期待しております。

**Q3.** 沖縄県歯科医師会として、現在特に力を入れている取り組み等がありましたら教えてください。

在宅歯科治療と障害者歯科治療への協力医及びスタッフの育成及び県民への啓発活動を行いながら、多医療機関との医療連携を構築するためにも、在宅支援センターの設立を検討しております。

**Q4.** 本会に対してのご意見・ご要望がありましたらお聞かせください

県民の健康を守り、尊厳ある人生を送るには、県民を取り巻く医療関係者の連携がなくてはならないし、また予防の見地からも積極的に連携して行かなければなりません。

個々で行う単発のイベントでなく、なごみ会を通して、全体で出来る事業を行うことで、より県民への健康への関心をひくのではないかと

考えます。

**Q5. 最後に日頃の健康法、趣味、座右の銘等  
がございましたら、是非お聞かせください。**

これといった健康法はなく、朝の青汁を飲む  
こと、ストレス発散での適度な飲酒、特にスコ  
ッチウイスキーは好きです。

趣味はここのところ中断をしていた、スキー  
か乗馬をそろそろ始めようかと考えています

が、まずは堅くなった身体をほぐす事を始めよ  
うかと考えています。

座右の銘は特にありませんが、好きな言葉と  
して「下を向かずに顔を上げ常に前を向いて進  
んでいきたい」

この度は、インタビューへご回答いただき、  
誠にありがとうございました。

インタビューアー：広報担当副会長 玉城 信光

